

**(5) 交通体系の整備**

北海道新幹線については、2030年度の札幌開業に向け、鉄道・運輸機構により工事が進められておりますが、今後も、その円滑な推進に努めるとともに、新八雲(仮称)駅の周辺整備については、新駅へのアクセス道路や駐車場、水道施設などの検討を進め、牧歌的風景を活かす施設配置、規模等を具体化する整備計画の策定に着手してまいります。

開業後、JR北海道から経営分離される並行在来線に関しては、現在、北海道および沿線自治体による協議会において、その後の旅客交通事業の在り方について検討が進められており、引き続き意見反映してまいります。

八雲町にふさわしい公共交通網構築のため策定した「八雲町地域公共交通網形成計画」に基づき、これまで檜山海岸線と熊石八雲間の予約バスの本格運行がスタートし、さらに本年2月には八雲地域の公共交通空白地域における需要を探る実証運行を実施いたしました。

この先も人口減少と高齢化が予測されることから、未来の八雲町を見据えた公共交通網を構築していくため、引き続き関係機関の協力を得ながら検討を続けてまいります。

**(6) 上・下水道の整備**

水道事業は、安全で安心な水道水の安定供給に向けて「八雲町水道事業ビジョン」と「経営戦略」に基づき、老朽化した配水管の更新および電気計装設備や施設の延命化を図るための修繕、水源施設の井戸の浚渫等を行うほか、道道整備工事である出雲通街路事業および本町大通無電柱化事業に伴い支障となる水道施設の移設工事を進めてまいります。

熊石地域簡易水道事業については、老朽化のため浄水場の機械設備等の計画的な更新を進め、適切な維持管理による水道水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業については、ストックマネジメント計画に基づき、八雲下水浄化センターおよび熊石浄化センターの機械設備等更新工事を進めてま

います。農業集落排水事業については、最適整備構想に基づき落部地区農業集落排水施設の機械設備等更新工事を進めてまいります。

また、下水道整備区域外については、水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽による水洗化の推進を図ってまいります。

真萩ポンプ場については、ストックマネジメント計画に基づき、効率的な修繕による延命化を図るため、機械設備の更新工事を進めてまいります。

なお、熊石地域簡易水道事業、下水道事業、農業集落排水事業の3事業について、令和6年度の企業会計適用に向けた取り組みを推進し、円滑な移行を図るとともに、水道事業を含む4事業については、将来にわたって効率的で健全な事業運営を行うための基本計画である「経営戦略」の見直しを行います。

**(7) ごみ処理等の環境整備**

ごみ処理等の環境整備につ

いては、ごみの減量化や資源化、適正な処理に取り組み、環境負荷の少ない循環型地域づくりを進めてまいります。

ごみ収集は、令和5年度から農業地区の可燃ごみ収集回数を増やし、収集体制の強化に努めてまいります。

海洋プラスチックごみは世界的な課題でありませんが、令和5年度は、黒岩地区、遊楽部川河口の海岸漂着ごみの処理を関係機関と協力しながら実施し、海岸環境の保全に努めてまいります。

**(8) 緑化・環境美化の推進**

道立公園噴火湾パノラマパークは、美しく、楽しく、そして安全な公園づくりを基本として、花畑や園内花壇、各広場の美化・緑化に努め、それぞれの季節感を活かした各種イベントを展開し、より多くの皆さまに愛されるよう、更なる利用促進と管理運営に努めてまいります。

町内の各公園については、遊具などの定期的な点検を実施し、各町内会等の協力を得ながら、安全かつ適正な維持

管理に努めるとともに、施設状況、利用状況、立地状況などを見極めながら、各公園の維持・廃止について検討してまいります。

また、町内会等連絡協議会との連携により、地域の環境美化活動の普及啓発に努めてまいります。

**(9) 防犯・交通安全の推進**

交通事故ゼロが継続されるよう、幼児から高齢者までの各世代に対応した交通安全教育を推進し、交通事故の減少に向けて交通安全意識の高揚を図ってまいります。

また、犯罪が起きにくい地域社会を目指し、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、令和5年度は通学路を中心とした危険個所に防犯カメラを設置し、児童・生徒の安全確保に努めるとともに、防犯協会や自主防犯パトロール隊などの関係団体と連携を図りながら、街頭啓発活動等に取り組んでまいります。